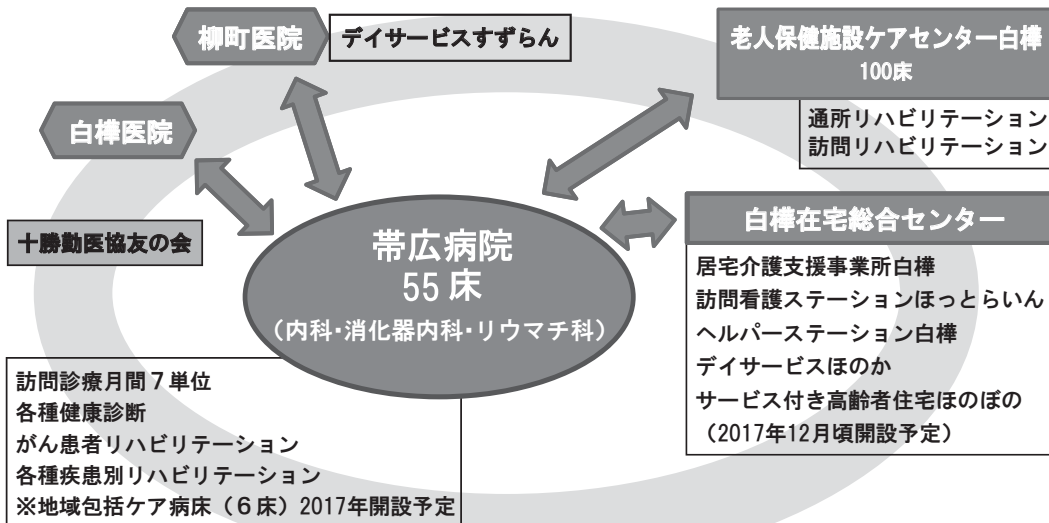


帯広病院 21-4111
柳町医院 30-3111
白樺医院 38-3500
ケアセンター白樺 41-1165
白樺在宅総合センター 41-1167

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会
帯広市西9条南11丁目1番地
0155-21-4718
発行責任者 今野 光昭
URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>
E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

*十勝勤医協の医療・介護ネットワーク



※地域包括ケア病床の対象となる方 **急性期治療が終わった後、もう少し経過観察が必要な方や、在宅復帰へ向けてもう少しリハビリが必要な方などが対象となります。また在宅での療養中に介護者の休養のための一時入院なども可能です。

十勝勤医協帯広病院は、地域住民、地域社会と密着し、法人内の在宅部門・施設部門とのネットワークを活かし、地域の事業所とも連携しながら、高齢者を総合的に診ている医療機関です。内科系急性期疾患への対応はもちろ

十勝勤医協帯広病院は
高齢者にやさしく、安心してかかれる
医療機関をめざしています。
〜無差別平等の地域包括ケアを支える最前線として〜



病棟看護師



外来看護師



医 局



事 務



技術(薬剤師・放射線技師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・調理師)

友の会と共に安心して住み続けられるまちづくりを目指して医療に取り組んでいます。

夜間診療を ご利用ください

お仕事などで日中に受診出来ない方は夜間診療をご利用ください。帯広病院では毎週木曜日に実施しています。検査、レントゲン、健康診断も可能です。(受付時間 16時30分〜19時)

訪問診療・患者送迎についてご相談ください

帯広病院では通院が困難で在宅での療養を希望される方に対して訪問診療を行っています。また、自家用車での通院が心配になったときの方や交通手段に困りの方などを対象に無料送迎も行っています。窓口にてご相談ください。

十勝勤医協帯広病院 医師紹介

2017年5月現在

名 前	専門等	出身	資格など
深町 知博	院長 難病 リウマチ	旭川医科大学	リウマチ学会 リウマチ専門医 日本内科学会 認定内科医 日本プライマリケア連合学会 認定指導医 日本医師会認定産業医
瀬川 高志	副院長 腎臓 糖尿病	旭川医科大学	日本プライマリケア連合学会 認定指導医 日本老年医学会 高齢者医療研修会終了
舘野 知己	総 合	北海道大学	
浅沼 建樹	消化器	北海道大学	日本医師会認定産業医
田村 久	呼吸器	札幌医科大学	日本呼吸器学会専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医 日本医師会認定産業医

診療体制のお知らせ

	月	火	水	木	金	土
	深町	深町(予約)	深町	深町(予約)	深町	深町
	瀬川	瀬川	瀬川(予約)	瀬川	瀬川(予約)	瀬川高志
午前	舘野(予約)	浅沼	舘野	舘野	舘野	千葉(第1週) 松原(第3週)
				田村(1・3・5週)	田村(1・3・5週)	※第2、第4土曜日は休診
午後	浅沼	深町	深町(14~16時) ※16時から医師が変更		浅沼 田村(1・3・5週)	訪問診療
夜間	深町(14~15時)	訪問診療		担当医は毎週変更になります		

受付時間／午前：7時〜11時30分(診療開始は9時)
夜間：16時30分〜19時(診療開始は17時)

午後：11時30分〜16時30分(診療開始は14時)

聴診器

▼介護保険法改正法案が衆議院でわずか22時間で参議院での審議に移りました▼問題点の一つは介護、医療、社会福祉など性格の異なる31本の法案の一括処理。二つ目は2015年の改悪(特養への入所制限、利用料2割負担)での介護困難の実態を放置したまま改悪を進めようとしていること。三つ目は3割の利用料負担▼2015年の改悪で特養の待機者は帯広市で2013年1,084人から2016年892人と192人が減少しました。要介護Iから要介護IIIへの入所基準引き上げの影響です▼2017年4月から要支援の通所介護(デイサービス)と訪問介護(ヘルパー)が自治体によるサービス(新総合事業)に移行されました▼利用料金の引き下げで事業の統合や閉鎖・撤退した事業所も多かった▼必要なサービス制限や介護の質の低下や安全性への不安など懸念のなかで実施されました▼高齢化が進行し、「住み慣れた地域で安心して暮らす」ためのさまざまな取り組みが行われています。勿論十勝の友の会でも「ひと声掛け見守り活動」や「居場所づくり活動」が旺盛に行われている▼「ちよ」としての支援を目的のNPOえがおも3年目を迎えました▼住み慣れた地域で安心して暮らすことは憲法25条で保障された権利です。こんな時代から十勝勤医協・友の会の出番！(鉄)

シリーズ

憲法があぶない

平気で約束を破る・嘘をつく・相手の気持ちを考慮しない・自分本位で上目線での言動は、どんなに社会的・組織的に上にいる人でも、信用できないと思う。安倍政権の首相・閣僚達のように。19歳で個人加盟の労働組合に加入以来35年程労働組合運動に携わってきたの想いです。足寄で50名ほどの人達に、憲法の前文・9条について「どんな事が書かれているか、おぼ



足寄友の会
事務局 田利 政文

ろげながらでもわかって「いますか」と、質問したことがあります。Yesと言ってくれた人は誰もいませんでした。憲法27条・28条に基づいて労働基準法、労働組合法が作られ、団体交渉・団体行動をする権利があるという事を、殆どの労働者・中小企業経営者は知りませんでした。これは現在も変わっていないように思う、サードビス残業・過労死するほどなげ働かねばならないのでしよう。明治・終戦まで、日本がアジアで国内で何をしてきか、その上に現憲法が作られている事を学び、歴史的事実



を知る事、専門家、マスコミの報道等を鵜呑みにしない事、無関心は庶民の命と暮らしを守る上で、大敵であることを知らなければなりません。

地域ケア会議の報告事例から
Tさんは40代男性、要介護1。30代で意識障害をわずらい離職。息子さんと2人暮らしです。このごろは、また働いて自活したい、という思いがあります。初老期の認知症、理解、判断力に波があり、買い物などの家事、定期通院の支援が必要な状況です。「お金が無い」「働かなくちゃ」という訴えに、どのように関わって良いのか迷う事例です。状況を地域包括支援センターに相談したところ「地域ケア会議（ケアマネジメント支援会議）」が開催されることとなり

医療・介護の現場から シリーズ⑧

1、行政職員が参加。障害分野の専門職からの助言や具体策の提案が得られています。事例を提出し

た職員からは「介護と障害の併用などの制度活用について知ることができた」「連携窓口が明確化された」「先が見えてきて、気持ち軽くなった」との感想が出されています。経験豊かなケアマネであっても、既存の制度や社会資源、過去の経験だけでは、利用者の困難に対応できない状況が増えていきます。この会議の活用は、今回で4事例目。今後、担当分野や領域にとらわれない、幅広い連携と学びで、利用者の困難に向き合っていきたいと思えます。

白樺在宅総合センター
宮田哲郎

第88回メーデー帯広集会

5月1日(月)、全国各地でメーデー集会が催されました。十勝・帯広でも、帯広駅北多目的広場で帯労連加盟の各団体をはじめさまざまな関係団体が参加し開催されました。



オープニングセレモニーから開会宣言、実行委員長あいさつが初めに行われ、デモ行進では、シユプレヒコールで市民にアピールしました。集会の中の決意表明では、日本共産党十勝地区委員会、帯広民主商工会、十勝原発連等の各団体より、アベノミクスにより拡大した格差や貧困とどう戦っていくか、労働者の暮らし最優先の政治へどう転換していくか、非正規雇用労働者が4割を超え過労死が後を絶たない中、

今こそ最低賃金時給1,000円以上、8時間働けば人間らしく暮らせる働くルールの確立、ディセントワークの実現に向けた新たなたたかいに踏み出す心構え、憲法破壊の異常な政治とどう対峙していくか等が訴えられました。戦争する国づくり、企業中心の国づくりへ暴走する安倍政権と対決し、憲法をいかに平和と民主主義、人間らしく生き続けられる社会の実現の必要とそれをめざす決意を、全参加者確



認する集会となりました。
本部組織部 池田大輔

2017平和大行進



『核兵器の全面禁止を求めてともに歩こう広島・長崎へ』を合言葉に、今年も5月6日、全国の基点から原水爆禁止国民平和大行進がスタートしました。道東の根室から出発した通し行進者が、11日に帯広に到着、歓迎集会が市内の中央公園西側で、約70名の参加で開催されました。歓迎集会では、実行委員長の挨拶を皮切りに、今年の通し行進者の挨拶、十勝網の目平和行進の報告、加盟団体や

昨年の世界大会代表派遣団の団長からの歓迎の挨拶などが行われました。本部の池田係長による「集会決議」の提案が拍手で承認された後、通し行進者を先頭に、列を作って市内を元気に行進、『なくそう核兵器』『つなごう被爆者の願い』『核兵器禁止条約締結を』等を訴える、ピースウォークを行ないました。

柳町医院検査主任

栗山秀樹

看護師奮闘記

人生の最期の過ごし方について ～在宅で迎える終末期～

これからの日本は高齢化が進み、2人に1人が癌になり、3人に1人が癌で亡くなる多死社会に突入します。さらに医療費抑制政策のため、病院のベッド数が削減され、全国的には2040年には49万人の看取り場所が不足する見込みとなっており、簡単に入院することができない時代がやってきます。

昔は自宅で最期を迎える方が多かったのですが、1976年頃から病院で亡くなる方が多くなり、身近で看取りの体験することがなくなりました。病院で最期の時を迎えるのが当たり前という状況となり、多くの人が自分がいつかは必ず迎える命の終焉を意識していず、死というものを否認する社会的状況や文化が残っていることは否めないと思います。しかし、人は生まれたら必ず最期の時を迎えます。人生の終末期をどこで過ごすのか？ 選択肢のひとつとして、今回は『在宅での終末期』について考えてみましょう。

◎父親の看取りから

一昨年前、私自身も父を自宅で看取りました。次第に食事が食べられなくなっていく父に対して、父とも相談し連日の点滴を続けていましたが、主治医の『そろそろ連れて帰った方が良い』の一言で在宅療養が始まりました。寝たきりになってから1ヶ月ほど入浴出来なかった父を、お風呂に入れてあげたいと思い、すぐに入浴サービスを利用しました。お風呂が大好きだった父は心地よい介助に終始御満悦でした。体調が変化し今後の事についての話し合いをするたびに心が揺れ動きましたが、父が辛いことを一番に考えて選択することができたと思います。在宅療養中も穏やかな日々を過ごした数日後、母と子供や孫に見守られ父は苦しむことなく静かに息を引き取りました。父の命のバトンが家族に繋がれた静かな時間でした。最初は娘に負担をかけたくないという思いから在宅療養を反対していた母も父親の穏やかな死を経験してから“あんな風に逝けたらいいよね”と話すようになり、母の気持ちにも変化がみられました。

◎在宅での終末期 ～ 今までの支援を通して学んだこと ～

- 静かな環境と住み慣れた生活の場で、家族の一員として自分らしく居られる。
- 人間としての尊厳が大切にされ、本人の希望や家族の意思を最大限尊重することができる。
- 日々の介護を通して家族の絆も深まり、家族間での『思い出』が増える。
- 家族にとっても肉体的・精神的な負担が入院中よりも少なくなる場合もある。
- 家族がやれる範囲での介護を精一杯行うことで、亡くなってからの後悔が少なくなる。
- 家族の満足度が高い。

在宅の看取りは自然で最期まで当り前の生活を送ることが出来ますが、実際に「家に連れて帰る」ことは家族にとっては大きな決断であり、周囲の支えがあつてこそ乗り切れるものだと思います。退院後、自宅での生活が気になり訪問すると“はじめは不安だったけど連れて帰ってきて良かった”という方が殆どで、日々の介護を通して沢山のエピソードを楽しそうに語られる御家族の姿に安堵したものです。自宅での看取りの経験は、残された御家族にとっても生活の延長線上にある自然なプロセスとして「いのち」が引き継がれることの大切さを学ぶ機会となります。お亡くなりになられた方達の一人ひとりが『ものがたりの主人公』であり、その最終章に関わる私たち看護師の役割の大きさを感じます。これからは“医療者”と“患者さん”という立場ではなく“一人ひとりが尊厳を持ち生活している人”として向き合い支えていくことが大切だと思います。多くの御家族は看取りが初めての経験です。私たちは御家族が安心して御本人に寄り添えることや、御家族の心の準備ができるように支えていくお手伝いをしていきたいと考えています。

4月11日からの4日間の昼食の時間に新しく移転した音更町の回転寿司まつりやに行ってきました。ボランティアさん、柳町医院のスタッフにも協力を得て、参加人数は利用者さん延べ32名。要介護4の90代Aさんは、常時車イス生活。肺炎を繰り返して、食欲も低下され、デイサービスの昼食は、他の方の量と比べて1/2程度少ない昼食を提供しています。そんなAさんも回転寿司では、イクラ、マグロ、ホタテ、茶碗蒸しを完食され「お腹いっぱい」と笑顔でお食事を楽しまれています。足が不自由で歩くのも大変な一人暮らしのBさんは「くじらのお寿司を食べて元気になりました。歩くのが楽しかったです。普段食べられないくじらを食べて大喜ばれておりました。他にも「大好きなホタテを4皿食べた」「全部で20皿食べてきた」「孫にお土産を買って行きたい」など、皆さんとても楽しまれました。デイサービスは、毎月外出レクリ



すずらん 回転寿司 まつりやに 行ってきました!!

エーショや行事を企画しています。今後も、利用者さんに楽しんで頂けるような、行事や外出レクリエーションを職員一同で行って行きたいと思っています。



5月11日(木)地域無料健康相談「オビロビ」を開催しました。「オビロビ」は「おびひろエアロビクス」の略称です。帯広市健康推進課の健康運動指導士長谷川昌二氏を迎えて、楽しく運動をしました。白樺医院では毎月第2木曜日に地域無料健康相談を開催。時間は午後3時～4時、場所は白樺医院待合室です。どなたでも参加できます。ぜひお問い合わせの上ご参加下さい。

これからの地域無料健康相談の予定
○6月8日(木) 茶話会
「自分らしい最期を迎えるために」
講師 ケアセンター白樺 二瓶弘美師長
○7月13日(木)「振り込め詐欺の被害と防止策」
講師 帯広消費生活アドバイザー センター 相談員 櫻井智恵氏
《お問い合わせ先》
十勝勤医協白樺医院 担当坪内
電話(0155) 38-3500

友の会連絡会「ナー」 ☎0255-321-4244

生き生き広場

今年も緑西の朝ウォークを元気に開催

緑西友の会

運動不足解消のためにと始めた朝のウォーキングは今年で4年目です。朝6時は主婦にとつて参加しにくい時間ではあります。5月6日で週2回水曜日・金曜日に元気がよく歩いています。

雪が解けて花が咲いて、かわいらしいリスの走り回る様子を楽しみ秋になると桑の実がみえる、そんな



村上久美子

な季節の移り変わりを楽しみながら今年も11月まで歩きます。

【緑西友の会】

ふまねつとのお食事も楽しいと好評

上土幌友の会

5年前から始めて、現在、月1回、4か所で行っています。間違つては大変。ステップ「どんぐりころころ」では、全員参加での交差がピタツと決まった時は、「まるで日体大のパフォーマンスマイ」と自分達の演技に拍手。最高零九一歳の方もますます元気いっぱいです。

お食事は、1か所だけですが、5月6日は、山で採ったばかりのクレソンの天ぷらやギョウジ



ヤニニクの和え物など、10種類も登場しました。おふくろの味く最新料理これまた美味しいと評判。「みんな健康で長生き」の輪を大切にしていきたい。

また、町の健診（今年から18歳以上が無料）と大腸がん検診もみんな受診しようと声を掛け合っています。

【上土幌友の会】

山本 和子

第15回 総会を終えて

新緑友の会

4月27日(木)緑ヶ丘福祉センターにおいて、友の会連絡会山本会長さん、ケアセンター白樺山本事務長さんに参加いただき、参加の30名と議案書に従って総会が行われました。毎年このことから、総会役員全員みな緊張します。「進行」「議長」「会長」とそれぞれの役目を頑張り終えることが出来ました。総会が終わると、ほっと一息交流の時間です。「お菓子」「飲み物」等会員さんが好きなものを考えて購入するのも楽しいものです。ビンゴゲームもありそれぞれに楽しめました。会員さんからの差し入れもあり、話に花が咲き楽しく交流が出来ました。会員さんが、新会員さんを2名紹介して



くれて嬉しさも倍になり、元気な世話人さんも3人増え自分の力に応じた宅配数を配っています。これからは、若い人たちを育てていかなければなりません。一人の持ち場を二人で処理したり、工夫を重ね細く長く続くよう世話人で話し合っています。

【新緑友の会】 千田濱子

ヒント

偽証罪かも

【答 え】

□□□□

（漢字でご記入ください）

応募方法

解答とお名前、住所、電話番号をハガキかメールで、左記へお送りください。

宛 先

○郵送

〒080-0019

帯広市西9条南11丁目

十勝勤医協会館内

友の会ニュース編集部

○メール

soshiki@tokachi-kin-

kyo.or.jp

賞 品

抽選で10人の方に、千円分の図書カードをお送りします。

頭の体操

次の□の中に二字熟語ができるように漢字を入れてください。□に入った漢字を組み合わせると答えになります。

出題者は村上礼二郎さん(帯広市)です。

認 □ 券 □ 書 □ 形 □ 間 □ 種

学 □ 題 □ 質 □ 声 □ 召 □ 呼

答 □ 起 □ 呼

締め切り

6月20日(当日消印有効)。発表は第399号(8月号)紙上です。

【第395号の当選者】

答えは「野兎狂闘」でした。

応募総数93通、正解者91通の中から抽選により、次の10人の方が当選しました。(敬称略)

- 木下 雅紀 黒川弘子
- 真田由美子 堀井文子
- 宮尾 玲子 (帯広市)
- 翠 裕司 (音更町)
- 遠山 薫 (幕別町)
- 長瀬しげ子 (士幌町)
- 平 佐智子 (広尾町)
- 永井 清彦 (標茶町)

いつでも元気

2017 6月号 380円 好評発売中

巻頭エッセイ／過ちを繰り返さないために 菱山南帆子

特集 貧困に立ち向かう

発信し、相談し、制度につなげる 無料低額診療事業所一覧

けんこう教室 ドライアイ

食と健康 糖尿病の方の食事

発行＝鶴保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656(代表) FAX 03(5842)5657



各友の会連絡先

- 【音更東】菅原 一晴 一五五-三二七〇九五
- 【音更西】増田 浩毅 一五五-三〇一八八六〇
- 【音更南】坂本 恵子 一五五-三二一六二六三
- 【音更北】中嶋 晴子 一五五-四二二一九九
- 【上土幌】和田 鶴三 一五五-四二二一九九
- 【新得】山本 政俊 一五五-四二二一九九
- 【清水】土山 武志 一五五-四二二一九九
- 【鹿追】武田 耕次 一五五-四二二一九九
- 【芽室】梅津 美政 一五五-四二二一九九
- 【中札内】西村 和正 一五五-四二二一九九
- 【更別】大津寿美香 一五五-四二二一九九
- 【大樹】有岡千恵子 一五五-四二二一九九
- 【広尾】前崎 茂 一五五-四二二一九九
- 【幕別】小林 正明 一五五-四二二一九九
- 【札内東】鈴木志摩子 一五五-四二二一九九
- 【札内西】成沢せい子 一五五-四二二一九九
- 【忠類】増田 武夫 一五五-四二二一九九
- 【豊頃】岩井 明 一五五-四二二一九九
- 【池田】吉田 清治 一五五-四二二一九九
- 【本別】加藤 孝一 一五五-四二二一九九
- 【足寄】田利美智子 一五五-四二二一九九
- 【陸別】黒沼 明美 一五五-四二二一九九
- 【東】加藤 みち 一五五-四二二一九九
- 【柏】加藤 昌明 一五五-四二二一九九
- 【光南】村上やよい 一五五-四二二一九九
- 【鉄南】牧野美智子 一五五-四二二一九九
- 【中央】田村力オリ 一五五-四二二一九九
- 【啓北】内田 豊 一五五-四二二一九九
- 【栄】及川 洋子 一五五-四二二一九九
- 【開西】岡本 顕 一五五-四二二一九九
- 【西帯広】清水美喜子 一五五-四二二一九九
- 【西南】田所 豊之 一五五-四二二一九九
- 【緑ヶ丘】片石 祐一 一五五-四二二一九九
- 【白樺】高宮 裕 一五五-四二二一九九
- 【新緑】千田 濱子 一五五-四二二一九九
- 【柏林台】横塚恵利子 一五五-四二二一九九
- 【緑西】村上久美子 一五五-四二二一九九
- 【稲田北】平 麗子 一五五-四二二一九九
- 【稲田南】藤田 功 一五五-四二二一九九
- 【大空】畑中 庸助 一五五-四二二一九九
- 【川西】伊沢佐恵子 一五五-四二二一九九
- 【大正】岡山 幹男 一五五-四二二一九九